

発行所: 株式会社帝国データバンク

千葉支店 〒260-8613 千葉市中央区中央3-10-6 TEL:043-227-0345 (代)

柏支店 〒277-0021 柏市中央町2-1 TEL:04-7165-1711 (代)

(本 社) 〒107-8680 東京都港区南青山2-5-20 TEL:03-5775-3000 (大代表) URL:http://www.tdb.co.jp/

購読料: 1年間50,000円 (本体価格) 複写転載厳禁 ©TEIKOKU DATABANK,LTD.

TDB TEIKOKU NEWS weekly

週刊 帝国ニュース 千葉県版

NO.1750 2018

3/19
mon.

page
01

最新ニュースはここにアクセス

<http://www.tdb-news.com/>

C O N T E N T S

- 03-情報スクランブル 〈No.46〉
—— 記者座談会から
- 04-スポットライト ~注目される県内企業
—— vol.368 ネクストワンインターナショナル(株)(中央区)
- 06-弁護士 村松謙一の体験的企業再建
熱血弁護士が駆ける! 〈第1回〉
- 09-INFORMATION
- 12-2018年2月度
全国企業倒産集計
—— 倒産件数は596件、3カ月ぶりの前年同月比減少
- 16-官報抜粋 (破産手続開始・合併・吸収分割 ほか)
- 20-新設会社紹介 (市川市・船橋市)
- 21-倒産・動向記事

東翔 [型枠工事] (佐倉市)

ウィンベル [除染作業] (市原市)

リードライフ・ファクタリングなど2社
[ファクタリング事業] (東京都)

有竹鳥獣店 [鳥獣売買] (東京都)

山義食品工業 [たくあん製造販売] (東京都)

鶴野商店 [米穀類・米穀加工品卸] (埼玉県)

エレマック
[防犯・監視カメラシステム製造] (埼玉県)

タカハシ工業
[合成樹脂部品塗装、射出成形] (群馬県)

バスク [自動車用品販売] (神奈川県)

21-その他の県内企業倒産

23-主な債権者判明

25-notebook

26-全国の企業倒産



抱湖園の元朝桜 (©南房総市)

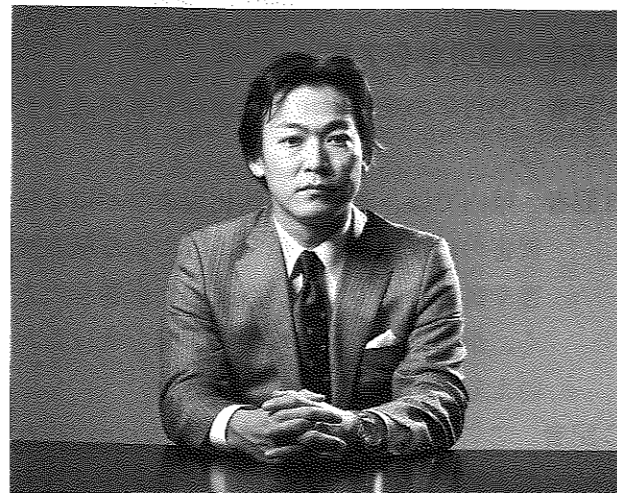


Data

(TDB企業コード: 368002370)
(法人番号: 5040001056388)

ネクストワンインターナショナル 株式会社

所在地 千葉市中央区中央1-11-1
代表者 遠藤 一平氏 (昭和53年8月生)
電話番号 043-202-3377
設立 2010年(平成22年)12月
資本金 3000万円
業種 木造建築工事、不動産業
(URL) <http://www.next1.co.jp>



代表取締役 遠藤 一平氏

千葉を本拠地に海外展開を図る

ネクストワンインターナショナル(株)は、「子育て世代の女性目線」をコンセプトにした自社ブランドの注文住宅『with Mamaの家』を主力に、「家族がつながる」をコンセプトとした分譲住宅『ララフィール』、そして趣味や家族を大切にするパパ&ママの「カッコイイ」や「カワイイ」家作りをコンセプトとした『BinO』の3本柱による戸建事業部を中心に展開し、2010年12月の設立以来、7期連続して増収を続けている。

その中で、更なる業績向上を目指し、陣頭指揮を執っている代表取締役の遠藤一平氏に、今後の展開についてインタビューした。

— 御社のこれまでの展開について教えてください

当社は、千葉県内で木造建築工事業を手がけてきた東日本建設(株)の関連会社として、不動産中古物件の仲介を目的にスタートしました。しか

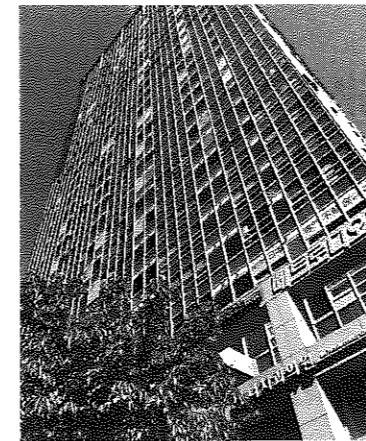
し、経営効率を考慮し、2013年1月に同社から木造建築工事部門を譲り受け、業態を現在のように戸建事業部、マンション事業部、リフォーム・エクステリア事業部・海外事業部に分けて展開するようになりました。

現在、事業所は『with Mamaの家』の千葉南店、市原店、袖ヶ浦店、木更津店の4カ所をはじめ、東京都港区に東京本部を開設するなど、全部で11カ所を構えるに至りました。

注文住宅のノウハウを生かした分譲住宅ブランド『ララフィール』は、家族のコミュニティを重視したプランが好評で、市原市や千葉市緑区・若葉区など、住宅需要が増している地区での分譲販売が順調に進んでいます。

また、『ある！ある！情報館』の名称で展開しているマンション事業部も、新築工事のノウハウを生かして中古マンションのリフォームをトータル

プロデュースするなど、お客様から好評を得ており、お客様の住環境に関しては、トータルでカバーすることをモットーに取り組んでいます。



— 海外にも注力しているようですが?

当社は、設立時から常に世界進出を狙っていました。「ネクストワンインターナショナル」という社名は、「ネクストワン=現状に満足せず、新しいものを生み続ける」、「インターナショナル=日本だけでは終わらせない」という意味を込めています。「千葉から日本クオリティを世界に発信したい」という想いも、そこにはありました。

2013年3月には海外進出第一弾として、韓国ソウル特別市内に『ネクストワンコリア』を設立しました。同社は、韓国に住む日本人向けにグレードの高いマンションやオフィスの賃貸仲介を手がけています。しかし、賃貸仲介を行うだけではなく、韓国に初めて赴任される日本人の方々が安心して住むことができるよう、現地出身のスタッフに現地の情報をお客様に提供するよう徹底しています。そのおかげで、ビジネスで韓国に赴任された方と一緒に住むご家族の方々からの評判も良く、韓国内の不動産仲介業を手がける日本法人の中で、取り扱い物件数が上位にまで食い込めるようになってきました。私も月に1度は韓国を訪れ、自分の目でサービス品質をチェックしています。当初は経費先行でしたが、現在業績は黒字化しており、前述の通り、不動産仲介業がメインでしたが、これからは現地の方向けに戸建事業の展開も視野に入れています。

次に、同年11月、ベトナムハノイに『ネクストワンベトナム』を設立しました。同社は、『ネクストワンコリア』とは違った展開を目的としてスタートしました。右も左も分らない状況からのスタートでしたので、まずは情報収集から始めまし

た。最初に飲食店をオープンし、人脈形成に努め、その後、地元のデベロッパー企業と協業し、宅地造成事業を手がけています。なお、現在は更に進んで、大型分譲地内に戸建住宅8棟を建築中で、2018年春には完成の見通しです。ベトナムは、投資という点ではとても注目されている国です。日本の方々に興味をお持ちなら、積極的にお手伝いできると思っています。

そして、最近では2017年11月、シンガポールに『ネクストワンシンガポール』を設立しました。実は、展開としては未だこれからなのですが、『ネクストワンコリア』と同様の展開(不動産賃貸仲介)を考えています。同国はとても成熟した都市で、多くの日本企業が進出しており、東南アジアの拠点とされています。ですから、需要は底堅いと思いますし、一番期待が厚い国です。また、最終的には50カ国の国々への進出を目標としています。

— 今後の展開について教えてください

海外についての話をしましたが、当社は、あくまで千葉が本拠地と考えています。2018年6月頃には、幕張地区のハウジングパーク内に展示場を開設する予定です。そこでは、人工知能(AI)を生かし、最新技術を設備した住宅をお客様に見ただけで、お客様が望む住宅を提供し、誰もが「ネクストワンインターナショナルで家建てたい」と言ってもらえる会社に成長できるよう、益々頑張りたいと思います。